

R6年度京都保育の魅力発信キャンペーンに係るインスタグラム運営等業務に係る公募型プロポーザルへの質問回答

該当資料	質問内容	回答
仕様書 P2	<p>【保育士・保育所の魅力発信動画の投稿形式について】 (1) インスタグラムへの投稿内容等 ア保育士・保育所の魅力発信動画 (エ) 最低限1園分…投稿頻度や投稿形式(フィード・リール、動画・イラスト)は受託者において決定する。 上記の通り仕様書にありますが魅力発信動画なのでリール形式のみかと認識しているのですが、内容によってはフィード投稿でも問題ないということでしょうか。</p>	<p>仕様書の本項目は保育士や保育現場の雰囲気伝えることを目的としており、一般的に、動画の方が訴求力が高いため、動画投稿を想定しておりますが、動画よりも効果が高い投稿形式があれば、そちらを提案いただくことは可能です。 ご提案内容についてはプレゼンテーションにより評価させていただきます。</p>
	<p>【保育士・保育所の魅力発信動画の取材について】 昨年度実施された様子から、園の職員様は、取材や事前ヒアリング等の時間はどの程度確保していただけるか、参考までにお教えいただきたいです。</p>	<p>昨年度は取材時間として1～2時間程度確保いただきました。 なお、事前ヒアリングについてはヒアリングシートを送付し、事前に回答いただくという形をとっておりました。</p>
	<p>【質問回答コンテンツの募集について】 これまでの経験上、学生からの質問が集まりにくい、もしくはフォロワーの年齢層から学生の割合が少ないなどの悩み等がありますでしょうか。</p>	<p>学生に限らず質問が集まらない状況です。学生からの質問を集めることはもちろんのこと、今年度は潜在保育士(保育士資格を持っているが保育士として就職していない方)への訴求もテーマとしており、潜在保育士からの質問をどう拾うかも課題と認識しております。 フォロワーの年齢層について、学生の割合が少ないのはその通りです(18-24歳のフォロワー数は約15%)。ただし、元々、高校生や養成校の学生の他、潜在保育士もターゲットとしていることから、学生の割合が少ないのが問題ではなく、フォロワーの数が思うように伸びていないことが問題と考えております。</p>
	<p>【質問回答コンテンツの回答について】 回答して下さる職員の方や、園長・施設長様は委託者からご紹介していただけるのでしょうか。もしくは受託者で探すのでしょうか。</p>	<p>昨年度は、園へ取材に行っていた際に、保育士さんにインタビューいただき、質問回答コンテンツの回答を収集していただいております。 今年度もそのようなやり方を想定しており、取材先の園は委託者から紹介いたします。 その他にも必要に応じ、回答いただける職員の方等は委託者からご紹介することは可能です。具体的な収集の方法等については受託業者様と協議しながら進めていく予定です。</p>